

5

大学塾

清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp



牧田塾長挨拶



四月号でお伝えした通り、三月二十五日（土）田辺静岡市長（当時）などをお迎えして、第三十九回度の開講式が実施されました。
今回はその時の写真を掲載いたします。

第三十九回度開講式開催

梅田講師による講師宣誓



田辺静岡市長（当時）祝辞



鈴木講師によるジャズダンス



矢澤講師と薮崎講師のコラボ



おじやまします

開講式第二部で素敵フラダンスを披露してくれた、矢澤講師のところにお願いしました。

問 そもそもフラダンスって何ですか？

答 子どもからお年寄りまで、幅広く楽しんでいるハワイ生まれの民族舞踊で、ハワイアンミュー



ジックに合わせてゆったりと踊る姿は、世界一美しい踊りとも言われています。



つりそう～！ でもストレッチはとても大切！！

実は「フラ」はハワイ語で「踊り」という意味ですから、「フラダンス」と言う「踊り・踊り」になっしまいました。ですから、ハワイ語では「フラ」と呼んでいます。

昔ハワイには文字がなく、神への感謝や物事の伝承を、歌や踊りで表現していました。それがフラの始まりと言われています。だから本来のフラは、一般的に知られているよりもっと精神的で奥深いものです。「自分の気持ちを伝えたい」と思いながら踊ることが大切です。

問 フラダンスの魅力を教えてください。

答 一番の魅力は誰でも踊れることだと思います。観て楽しむだけでなく、ゆったりとしたリズムに合わせて踊っていると、心身ともにリラックスしてきます。

それとフラは常に体を動かしているの、運動量が見た目より多く、ダイエットにも効果があるんですよ。

問 フラダンスを始めたきっかけは



歌も覚えましょう。ハワイ語はローマ字読みですよ



さすがに先生はかっこいい！

答 音楽と踊りは子どものころから好きでした。

仕事を辞めた時近所にフラのスタジオができて、そこに入会したのが始まりです。

親子教室を開催したり、フラスタジオを主催したりと積極的に活動される矢澤講師。これからもフラの魅力を多くの人に伝えていきたいと話してくださいました。

めざせフラガール

庵原交流館 二・四（金）

十三時～

講師 矢澤美知子



初めまして

三十九度から始めました「鳴らそう尺八第一歩」に潜入してきました。

まずは恒例の自己紹介から



みんなでジュースではありません



ベルヌーイの定理が大切??



工事用パイプで稽古です

健康リズム体操Ⅰ
興津交流館
第二・四(水) 十三時半〜
講師 鈴木節子

「健康リズム体操Ⅰ」の皆さんが、四月十六日(日)に行われた「ジロチョウマーケット」に参加されました。

ジロチョウマーケットに参加

・次回は「こども料理教室」です。

鳴らそう尺八第一歩
入江交流館
第二・四(火) 十四時〜
講師 梶原清



これで音が?・・・ 出た!!



たくさんのお客さんが応援してくれました



最後はみんなで一緒に

展示会のお知らせ

✿書とあそぼう

(あじさい書道教室)

会期 六月十六日(金)～

六月三十日(金)

会場 興津生涯学習交流館一階
講師 柳本花香

募金ありがとうございます

・筆のたのしみ

・書道「蓬会」

・入門「実用書道」

講師 太田静苑

・男の料理教室II

講師 牧田まさ子

・日本舞踊初心者

講師 花柳美乃玉

・里山歩きを楽しもうI

講師 大石正教

・楽しい書道

講師 平井昭子

清見潟川柳

・ステージ発表

弾けた完璧 エアー琴

・おしゃべりと

体操が効く 腰痛に

・そのうちに

歩行者も義務 ヘルメット

(ペンネーム ぽぼさん)

投稿ありがとうございます

事務局からのお知らせ

幹事会を開催します。各講座の幹事は出席をお願いします。

なお代理の方が出席する場合は、早めに事務局までご連絡ください。

日時 六月二十五日(日) 十時～

会場 区役所三階ふれあいホール

内容 監査報告・交流館使用時の

注意事項他

「御婦人用便所」に驚いた

中国の貴婦人

「言葉に意味はない。あるのは解釈だけだ」。これが言葉に関する私の哲

学だ。ただし文字には意味がある。漢字は世界最高の文化である。その中でも最高の傑作は「婆」という字だ。皮膚にさざ波(皺)が立つ女。この字を作った男はまさに天才である。言い得て妙だ。それに比べて「爺」の方はいかにもだらしない。父の耳の片方が聞こえない状態だ。っこれは明らかに機能障害である。婆の方は単なる老化現象にすぎない。これだけを比較しても女性の方が丈夫で長生きなことが分かる。補聴器の使用は男性の方が圧倒的に多い。そういう前提に立つて改めて「婆」と「爺」という字を比べてみると、その奥底に万感の書に勝る哲学の存在が感じられる。

「廁」という字など中国を旅行して初めて理解できる字だ。中国と日本とで大きく違うのは「汽車」(日本の自動車)と「火車」(日本の汽車)、それに「大人」と「小人」くらいなもの。大人は偉い人、小人は普通の人のことだ。明治時代、中国人が日本の銭湯で大人と小人をどうして見分けるのか、それになぜ入浴費が異なるのか、と質問され困ったことがあったという。日清戦争後、清国の外務大臣が講和のため横浜に上陸、横浜駅から新橋まで汽車で行くことになった。横浜駅で大臣夫人が急にもようし廁へ

案内を請うた。駅長がトイレに案内するとその夫人、入り口の表示を見て真っ青になり、大臣に助けを求めた。大臣が驚いてトイレに駆けつけ、今度は真っ赤になって起った。その表示は「御婦人用便所」と書いてあった。

中国語で「御」は「馭」の意だ。直訳すると「夫人を馭するに便なる所」ということになる。これでは怒るわけだ。十五年前、揚子江下りの船中で中国の添乗員に李白の詩を中国語で読んでもらったことがある。何のことやらさっぱり分からない。李白の詩は日本語で読むに限る。まさに目黒のサンマだ。

外来語をカタカナで書いた日本人は偉い。本家の中国が表意文字から表音文字を使い始めたのも不思議だ。カタカナを使えばいいのに。曰く「日本の真似はしない」と。

『不良老人のすすめ』より抜粋
著者 故大石正路(第二代塾長)

